

東京言語研究所

2015年度第3回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを目的として、年3回公開講座を開催しています。毎回、ことばとかかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2015年度第3回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

〈演題〉日本語文理解研究の面白さ

〈講師〉小野 創 氏（津田塾大学学芸学部 准教授）

〈日時〉2016年2月27日(土) 14:00～17:00

〈会場〉東京言語研究所（新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル13階）

〈参加費〉一般 1,500円 学生 1,000円(当日学生証提示)

(*2015年度理論言語学講座受講生は500円)

※ 参加費は当日現金でお支払いください。

〈申込み〉ホームページ申込みフォームもしくはFAXで下記へご連絡下さい。定数:60名

- ① 公開講座受講希望
- ② 氏名
- ③ フリガナ
- ④ 性別
- ⑤ 住所
- ⑥ 電話番号
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 区分（2015年度理論言語学講座受講生・一般・学生）
- ⑨ 所属（大学生・大学院生・教員・会社員・その他）

(上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません。)

〈講師紹介〉

米国メリーランド大学大学院博士課程修了(Ph.D. in Linguistics, 2006)。広島大学特別研究員、近畿大学准教授などを経て、現在、津田塾大学学芸学部准教授。専門は成人母語話者の文処理と理論言語学(統語論)。最近の論文は、「文解析と記憶システム: 文法的依存関係構築における干渉効果の検討」共著(『言語の設計・発達・進化: 生物言語学探究』藤田耕司他(編) 開拓社、2014)や Integration costs in the processing of Japanese wh-interrogative sentences. *Studies in Language Sciences*, 13 (2014) 共著、「カクチケル語 VOS 語順の産出メカニズム—有生性が語順の選択に与える効果を通して」『認知科学』22 (2015) 共著、など。

問合せ先 公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427 ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

【講義要旨】

文理解研究とは、ヒトがリアルタイムに文を理解する際に頭の中でどのような処理が行われているのかを解明することを目的とした分野です。「リアルタイムに」ということから分かるように、様々な実験的手法を用いて（また実験機材を用いて）仮説を検証していくことを繰り返していきます。言語学の他の講義でおなじみの音韻論や形態論、統語論や意味・語用論などの理論的な研究を土台にして、私たちに備わっている言語の仕組みが短期記憶などの言語以外の認知システムとどのような関係を結んでいるのかも調べます。

今回の公開講座では、文のレベルでの心理言語学の研究を日本語を主な題材にして紹介します。日本語の統語的な特徴の1つであるかき混ぜ文やWh疑問文などがリアルタイムにどのように理解されるのか、またどのような場合に文処理に大きな負荷がかかってしまうのかなどの事柄について、自己ペース読文課題・視線計測器を用いた読文時間計測・事象関連電位（ERP）という脳波を計測する実験といった実験の手法などを紹介しながら、これまでの研究成果を見ていくことにします。

公開講座では最新の研究の一部を紹介しますが、さらに深く学びたい方は2016年の理論言語学講座を受講ください。2016年度後期に私が担当する言語心理学Bの講義につながるような形で、文理解研究ではどのようなことが話題になっているのかを参加者の方とディスカッションしたいと思います。



『ことばの宇宙への旅立ちー10代からの言語学』大津由紀雄編 好評発売中

第一線で活躍する言語学者自身の研究の紹介や言語学を志すきっかけなどのエピソードが盛り込まれています。発行：東京言語研究所／発売：ひつじ書房

書店にない場合は直接研究所にご注文ください。